



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ

コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 犬飼 律子 (TEL) 03-6361-7100

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,768	3.5	5,732	9.6	5,750	6.5	4,045	3.6
2020年3月期第1四半期	30,699	3.1	5,230	14.7	5,401	9.8	3,903	11.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,624百万円 (△6.0%) 2020年3月期第1四半期 2,792百万円 (△21.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	52.87	-
2020年3月期第1四半期	51.05	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	312,668	212,399	65.7
2020年3月期	311,042	213,048	66.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 205,569百万円 2020年3月期 205,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	32.00	-	32.00	64.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	32.00	-	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,200	5.6	9,100	△6.9	9,400	△4.6	6,800	△3.4	88.88
通期	132,000	7.1	17,000	△9.9	17,900	△8.9	13,000	△5.6	169.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に見通すことが困難なため、上記業績予想には新型コロナウイルス感染症の影響を反映しておりません。仮に感染拡大が、徐々に収束に向かった場合と継続した場合を想定し、売上高へのマイナス影響を2～4%と予測しますが、長期化した場合等、状況に変化が発生した際には適時・適切な開示を実施いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間において、津村盛実製菓有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	76,758,362株	2020年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	250,069株	2020年3月期	250,049株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	76,508,303株	2020年3月期1Q	76,457,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内においては新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動の自粛や制限、また、外来患者数の減少等の影響を受けながらも前年同期に比べ0.6%増加し、加えて中国子会社の新規連結に伴い、3.5%増の31,768百万円となりました。

利益につきましては、営業利益5,732百万円（前年同期比9.6%増）、経常利益5,750百万円（前年同期比6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,045百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストで吸収するも、子会社の外部販売の増加により、前年同期に比べ1.6ポイント上昇しました。また、販管費率は、活動自粛の影響等により、2.6ポイント低下し、これらの結果として、営業利益率は前年同期に比べ1.0ポイント上昇し、18.0%となりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	2019年 第1四半期	2020年 第1四半期	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	30,699	31,768	1,068 (3.5%)
営業利益	5,230	5,732	502 (9.6%)
経常利益	5,401	5,750	348 (6.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,903	4,045	141 (3.6%)

当社は、中期経営計画の戦略課題である「漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立」に向け、「高齢者関連領域」「がん領域（支持療法）」「女性関連領域」を重点3領域と位置づけており、育薬処方^{※1}やGrowing処方^{※2}を中心に情報提供活動を展開しております。

当第1四半期連結累計期間の医療用漢方製剤全体の売上高は、薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療機関への訪問自粛、学術イベントの中止や延期により情報提供活動が大きく制限されるなど、厳しい環境下、前年同期比0.3%減少しました。

主力品目である育薬処方の大建中湯は、前年同期比で0.1%増加しました。病院市場での情報提供活動を徹底するとともに、開業医市場におきましても便秘症の症状のうち、治療満足度が低いと考えられる「腹部膨満感」に焦点をあて、継続して新たな市場の獲得に向けた活動を強化しております。Growing処方では、補中益気湯、五苓散が堅調に推移しました。

営業活動につきましては、従来の訪問型活動が十分に実施できない状況が続くなか、Webを活用したセミナーを大幅に増やしており、一定の効果を認めています。また、MRによる施策を積極的に展開し、各エリア、医療圏の状況に合わせた新たな活動も開始しております。

今後も、医療関係者からの要請に応じ、オンラインによる活動とこれまでの訪問型活動を使い分けるハイブリッド型の活動に加え、e-プロモーションをさらに充実させ、積極的かつ効果的な情報提供活動を推進してまいります。

漢方医学に対する医療関係者のニーズは、益々高まり、多様化しております。今後も、基礎・臨床エビデンス、漢方製剤掲載の診療ガイドラインおよび漢方医学的な処方の使い分けなどに関する適切な情報提供活動を実施してまいります。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データなど）により診療ガイドライン掲載を目指す処方

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は312,668百万円で、前連結会計年度末に比べて1,625百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べて6,786百万円の増加となりました。固定資産は、建物及び構築物が増加した一方で、当期より津村盛実製薬有限公司を新規連結したこと等に伴う投資その他の資産におけるその他の減少等により、前連結会計年度末に比べて5,160百万円の減少となりました。

負債合計は100,268百万円で、前連結会計年度末に比べて2,275百万円の増加となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金が減少した一方で、流動負債におけるその他の増加等により、前連結会計年度末に比べて2,477百万円の増加となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて202百万円の減少となりました。

純資産合計は212,399百万円で、前連結会計年度末に比べて649百万円の減少となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて1,334百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べて1,143百万円の減少となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて840百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は0.3ポイント低下して、65.7%となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間は、営業活動によるキャッシュ・フローが5,446百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが1,214百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローが1,810百万円の支出となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,446百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前四半期純利益5,741百万円、支出項目では法人税等の支払額3,233百万円であります。前年同期との比較では、551百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,214百万円の収入となりました。主な内訳は、定期預金の増減額2,336百万円であります。前年同期との比較では、5,703百万円収入が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,810百万円の支出となりました。主な内訳は、配当金の支払額2,348百万円であります。前年同期との比較では、545百万円支出が減少しております。

その結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて4,163百万円増加し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額3,519百万円と合わせ、65,375百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表しました2021年3月期の連結業績予想に変更ありません。

なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に見通すことが困難なため、業績予想には新型コロナウイルス感染症の影響を反映しておりません。仮に感染拡大が、徐々に収束に向かった場合と継続した場合を想定し、売上高へのマイナス影響を2～4%と予測しますが、長期化した場合等、状況に変化が発生した際には適時・適切な開示を実施いたします。

当社は、医薬品の安定供給を継続するため、静岡工場、茨城工場、石岡センター、ロジテムツムラ及び夕張ツムラ、中国に所在するグループ会社の拠点につきましては、感染防止に努めた上で通常通り稼働しております。今後も、社員やお得意先、お取引先の皆様等の安全を最優先に感染拡大防止に努め、政府の方針や行動計画に基づき対応方針を決定すると共に、適切な事業継続を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,957	67,281
受取手形及び売掛金	47,161	46,661
商品及び製品	10,338	10,456
仕掛品	12,418	14,204
原材料及び貯蔵品	50,553	50,502
その他	11,882	11,991
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	194,288	201,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,672	74,428
その他	91,603	90,469
減価償却累計額	△83,069	△84,464
有形固定資産合計	77,207	80,433
無形固定資産		
のれん	12,016	11,608
その他	1,324	1,268
無形固定資産合計	13,341	12,877
投資その他の資産		
投資有価証券	10,750	11,040
退職給付に係る資産	1,213	1,314
その他	14,241	5,926
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	26,204	18,281
固定資産合計	116,753	111,592
資産合計	311,042	312,668
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,128	7,474
短期借入金	22,874	23,830
未払法人税等	3,607	2,518
返品調整引当金	10	7
その他	11,856	17,122
流動負債合計	48,476	50,953
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	12,394	12,396
退職給付に係る負債	72	72
その他	7,049	6,845
固定負債合計	49,516	49,314
負債合計	97,993	100,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	14,041	13,837
利益剰余金	158,610	160,150
自己株式	△678	△678
株主資本合計	202,116	203,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,767	2,974
繰延ヘッジ損益	87	10
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	△1,318	△2,614
退職給付に係る調整累計額	△949	△926
その他の包括利益累計額合計	3,260	2,117
非支配株主持分	7,671	6,830
純資産合計	213,048	212,399
負債純資産合計	311,042	312,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	30,699	31,768
売上原価	12,424	13,363
売上総利益	18,275	18,404
販売費及び一般管理費	13,044	12,671
営業利益	5,230	5,732
営業外収益		
受取利息	170	153
受取配当金	126	132
持分法による投資利益	—	107
その他	48	42
営業外収益合計	346	435
営業外費用		
支払利息	26	68
持分法による投資損失	29	—
為替差損	112	346
その他	6	3
営業外費用合計	175	418
経常利益	5,401	5,750
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	9
特別損失合計	2	9
税金等調整前四半期純利益	5,399	5,741
法人税等	1,460	1,798
四半期純利益	3,939	3,942
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△102
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,903	4,045

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,939	3,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,019	207
繰延ヘッジ損益	△1,068	△76
為替換算調整勘定	933	△1,459
退職給付に係る調整額	△11	22
持分法適用会社に対する持分相当額	17	△12
その他の包括利益合計	△1,147	△1,318
四半期包括利益	2,792	2,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,648	2,902
非支配株主に係る四半期包括利益	143	△278

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,399	5,741
減価償却費	1,642	1,794
のれん償却額	—	149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△297	△286
支払利息	26	68
持分法による投資損益(△は益)	29	△107
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	9
売上債権の増減額(△は増加)	718	440
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,034	△2,637
仕入債務の増減額(△は減少)	△289	△2,498
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△139	△72
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	3
その他	2,359	5,840
小計	6,422	8,445
利息及び配当金の受取額	302	312
利息の支払額	△45	△77
法人税等の支払額	△1,783	△3,233
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,895	5,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	9,991	2,336
有形固定資産の取得による支出	△1,944	△600
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△181	△44
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△12,428	△12,169
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	12,425	12,170
子会社出資金の取得による支出	△907	△451
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△36	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,918	1,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,249
配当金の支払額	△2,343	△2,348
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△699
その他	△12	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,356	△1,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	440	△687
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,898	4,163
現金及び現金同等物の期首残高	56,243	57,692
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	3,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,142	65,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、津村盛実製薬有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）または流動負債（その他）として繰り延べております。